8/23 世界遺産登録目指して

文化庁に世界遺産登録暫定一覧表入りを要望

中岡文化庁次長（右）へ要望書を手渡した協議会メンバー

蒲島知事と阿蘇郡市7市町村長で構成する「阿蘇世界文化遺産登録推進協議会」が文化庁を訪問し、阿蘇が世界遺産暫定一覧表へ早期に記載されるよう中岡文化庁次長へ要望しました。

要望活動では、構成資産の文化財国指定や地元の気運醸成等、「阿蘇」の世界文化遺産登録に向けた取組みが着実に進んでいることを文化庁へ説明しました。

阿蘇の世界文化遺産登録に向け、今後も熊本県と阿蘇郡市7市町村が一体となって取り組みを進めていきます。

9/18 暴力団はいりません！

観光業者等が暴力団排除を宣言

暴力団を排除することを宣言した旅館組合の稲吉理事長

阿蘇市と産山村の飲食業や観光・旅館業団体などが、阿蘇警察署で暴力団を排除する宣言を行いました。

来年度は、国道57号現道や国道57号北側復旧ルート、JR豊肥本線の開通が見込まれており、阿蘇地域の観光客増に伴う利権を狙った暴力団など反社会的勢力の進出が心配されています。

今回、暴力団などの被害に遭いやすい飲食・観光・旅館業の団体が中心となって、官民が協力し暴力団排除の徹底と安全・安心なまちづくりを行うことを宣言しました。

9/20 高齢者の事故に注意

秋の交通安全運動出発式

安全祈願の千羽鶴を市に贈呈する阿蘇中央幼稚園の園児

9月21日～30日まで実施された秋の全国交通安全運動に合わせて、市役所で出発式が行われました。

式には交通安全協会会員や交通指導員など約100人が参加。永年無事故運転者の表彰や阿蘇中央幼稚園の園児による交通安全祈願の千羽鶴が贈呈されました。

阿蘇警察署の沖田茂行署長のあいさつでは、「秋口からは交通事故が多くなるので、精力的に交通事故を防止してほしい」と話があり、式終了後は広報車で市内を巡回しました。

9/25 見事な疾走！的射抜く

農耕祭事「田実祭（たのみさい）」で流鏑馬（やぶさめ）奉納

巧みに馬を操り矢を放つ射手

秋の収穫を感謝する国指定重要無形民俗文化財「阿蘇の農耕祭事」の一つ田実祭が阿蘇神社で行われ、流鏑馬が奉納されました。

阿蘇中央高校馬術部OBでつくる阿蘇流鏑馬射手会（後藤勝美会長）の10人が、烏帽子や直垂（ひたたれ）を身に着けて140㍍の神社参道を飾り馬に乗って疾走。設置された3つの的に向かって次々に矢を放ち、的に命中すると観客から大きな声援と拍手が送られました。

23日には国造神社でも田実祭の神事が行われました。

9/28 山を守る活動に功績

薄井良文さんに環境大臣表彰

表彰を受けた自然公園指導員の薄井さん

自然公園の保護と適正利用に貢献したとして薄井良文さん（下役犬原）が環境大臣から表彰を受けました。

薄井さんは、阿蘇広域消防本部で山岳救助隊長として活躍する傍ら、平成8年から自然公園指導員となり、ボランティアで登山道の点検や登山者への注意喚起など山の事故防止に尽力してきました。平成27年に消防職員を早期退職してからも自然の魅力を発信する活動を現在も続けています。

永年にわたる功績が認められ今回の表彰となりました。

10/3 阿蘇の安全安心に貢献

永野博吉さんに防犯功労者表彰

九州防犯協会から表彰を受けた永野さん（右）

阿蘇地区の防犯活動に貢献した永野博吉さん（南黒川）に九州防犯協会の防犯功労者として沖田茂行署長から表彰状が手渡されました。

永野さんは、平成16年から阿蘇地区少年警察ボランティア連絡協議会の少年補導員として活動を開始。現在は、同協議会の副会長や防犯パトロール隊の隊員として、少年の健全育成や精力的な防犯活動を行い、安全安心を守る地域づくりに取り組んでいます。

永年にわたる活動が評価され今回の表彰となりました。

10/5 幻想的な夜神楽舞う

第28回神楽フェスティバル

幻想的な夜神楽の舞

第28回神楽フェスティバルが道の駅波野神楽苑で開かれ、約1400人が伝統的な神楽の舞を堪能しました。

昨年は台風の接近で中止となり2年ぶりの開催となった同フェスティバルには、中江・横堀両岩戸神楽保存会や波野小中学校神楽クラブ、波野太鼓黒鵜（くろうぐみ）のほか大分県の4団体が出演。竹の上から餅を投げる「天のメ」など合計17演目が披露され、独特の笛や太鼓の音色で盛り上がりました。陽が落ちると地元の神楽保存会が舞う夜神楽で、舞台は幻想的な雰囲気に包まれました。

10/5 古墳を知って歴史を学ぶ

一の宮小が中通古墳群を散策

児童たちは身近な古墳の歴史に興味津々

一の宮小学校の5・6年生168人が中通古墳群一帯を散策し、阿蘇や中通地区の歴史を学習しました。

地域体験学習の一環で行われたこの活動では、地域を学ぶことで地元の文化遺産に興味を持ってもらうことを目的に企画。中通小学校をスタートし、県内最大級の前方後円墳「長目塚（ながめつか）古墳」など4カ所を回り、市の学芸員から説明を受けました。

参加した児童たちは、これまで触れてこなかった地元の歴史を知ることで、地域に誇りを持つ新たなきっかけとなりました。

10/8 薬物乱用ダメ。絶対。

阿蘇ライオンズクラブが薬物乱用防止呼びかけ

阿蘇中学校でチラシを配布するクラブ員の皆さん

阿蘇ライオンズクラブ（西本貴志会長）を中心に警察官など約10人が阿蘇中学校で啓発用のチラシを配り、薬物乱用防止キャンペーンを実施しました。

阿蘇ライオンズクラブは、青少年の健全育成をテーマに、結成した50年前から毎年10月上旬の「世界ライオンズデー」に合わせ薬物乱用を防ぐ活動を行っています。

インターネットの普及で薬物乱用は身近な問題になっているため、興味本位で手を出さず、誘われても断るよう生徒たちに呼びかけました。

10/8 科学に興味を持って

東京応化科学技術振興財団が図書を寄附

目録を贈呈した東京応化阿蘇工場の山下工場長（左）

（公財）東京応化科学技術振興財団（藤嶋昭理事長）が科学の図書279冊を市内の図書館や小中学校、学童クラブに寄贈しました。

同財団は「科学教育の普及・啓発助成」事業の一環として、良い本に出会う多くの機会を作り、日本の将来を担う理科好きの子どもたちが育ってほしいとの思いから、東京応化の拠点がある自治体に図書を寄贈する活動を行っています。

寄贈された図書は、小・中・高校生の学力に合わせた当財団のおすすめが選定されています。

10/9 若者にはまだまだ負けん

市内３カ所でシルバースポーツ大会

真剣な表情でチーム競技に挑む波野会場の参加者

阿蘇市シルバースポーツ大会が一の宮運動公園、農村公園あぴか、波野屋内ゲートボール場の３会場で開かれ、60歳以上の市民が参加しました。

高齢者の健康維持と親ぼく、生きがいを高めることを目的に毎年開かれている本大会には総勢２千人が参加。徒競走や技巧走などそれぞれの会場ごとに特色ある競技が行われました。

行政区ごとに分かれたチーム戦では、年齢を感じさせない動きで競技に挑む参加者に加え、大勢の応援者も含め会場全体で大会を楽しみました。

10/9 安全啓発作品に最高賞

山口凛恋さんのポスターが県優秀賞

阿蘇西小の玄関に飾ってある受賞作品と山口さん

熊本県が募集した全国地域安全運動を啓発するポスター部門で、阿蘇西小３年の山口凛恋（りこ）さん（的石）が優秀賞を受賞しました。

10月11日～20日に実施された全国地域安全運動は、安全で安心して暮らせるまちを実現するため、地域住民が市や学校、警察などと連携しながら犯罪の防止に取り組む活動です。

山口さんの作品は、女の子が襲われるところを自分の手のひらを使って表現。不審者から身を守るよう注意を呼びかける内容となっています。

10/17 英霊を偲び平和願う

阿蘇市戦没者追悼式

平和を願う作文を読み上げる中川瑞月さん

阿蘇市戦没者追悼式が阿蘇体育館で行われ、遺族や市民など約180人が参列し、戦没者への哀悼の誠を捧げました。

式では、阿蘇市遺族会連合会の山部征三会長が遺族を代表して追悼の言葉を述べ、香雲堂吟詠会阿蘇中央本部の皆さんによる献吟が捧げられました。

参列者が1162名の英霊に献花を捧げた後、阿蘇市の児童を代表して内牧小6年の中川瑞月さんが、「私たちにできることは、戦争の悲惨さを伝え、未来につなげること」と平和を願う作文を発表しました。

10/16 交通安全活動に功績

阿蘇ダンプカー協会が九州管区警察局長表彰

表彰を報告した村本会長（中央）と春山副会長（右）

交通事故防止と交通秩序の確立に貢献したとして、阿蘇ダンプカー協会（村本邦雄会長）が九州管区警察局長から表彰を受け、佐藤市長に報告しました。

45年前に結成し、ダンプカー協会として県内で唯一活動している同協会は、阿蘇市と産山村の57団体で組織されています。ミルクロード沿いのパトカー看板設置や加入団体の車両にドライブレコーダーを付け有事の際に警察へデータを提供するなど管内の交通安全活動に貢献しています。

多年にわたる活動が評価され、今回の表彰となりました。

全国大会等出場者と結果

●相撲 （10.8 ／大阪府堺市）

第 22 回全日本小学生女子相撲大会

【5年生の部 45kg未満級 3位】 奈須 美彩（内牧小5年）

奈須 美彩さん（小里）

●サッカー （11.8 ～ 12 ／和歌山県上富田町）

第 32 回全国健康福祉祭和歌山大会

堀川 淳（内牧 5 区）

（敬称略）

10/18 喫煙マナーの向上訴え

阿蘇たばこ販売協同組合が内牧で清掃活動

清掃活動を行ったタバコ販売協同組合

阿蘇たばこ販売協同組合（嶋村征司 理事長）のメンバー11人が内牧支所周辺の清掃活動を行いました。

同組合は市内の29店舗が加入。社会貢献運動として、毎年3回、地域の美化清掃活動を実施しています。

嶋村会長は「健康への影響からタバコを吸う人が減っているが、タバコ税は市の貴重な財源。分煙などの工夫でタバコへの理解と喫煙者のマナー向上を訴えたい」と、参加したメンバーと付近のゴミを拾い集めながら啓発活動を行いました。